

ニューズレター 2010 年度第 1 号

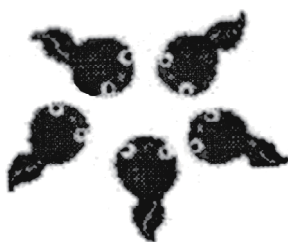
日本音楽表現学会 2010 年 7 月 31 日発行

日本音楽表現学会第 8 回（響の都）大会特集

目 次

1. 【巻頭言】 オーケストラにおけるまなび	吉永 誠吾	2
2. 日本音楽表現学会第 8 回（響の都）大会報告		3
1) 響の都大会を終えて	荒川 恵子	3
2) 2010 年度総会報告		3
3) 大会参加者の声	山田 克己・松井 萌・鍋島 史	9
3. 新入会員紹介		10
4. 会員によるコンサート案内		12
5. 会員による CD リリース		13
6. 会員による新刊案内		13
7. 教員公募		14
8. 事務局からのさまざまなお知らせとお願い		14
8. 各種書式		15
9. 日本音楽表現学会第 9 回大会のご案内		16
10. 役員名簿・編集後記		16

日本音楽表現学会



所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：〒 520-0862 大津市平津 2-5-1 滋賀大学教育学部杉江研究室気付

Tel. & Fax. 077-537-7792

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.soc.nii.ac.jp/jmexs/>

年会費（5,000 円）の振り込み→郵便振込口座：01370-6-78225 日本音楽表現学会

オーケストラにおけるまなび

日本音楽表現学会理事 吉永 誠吾（ヴァイオリン）

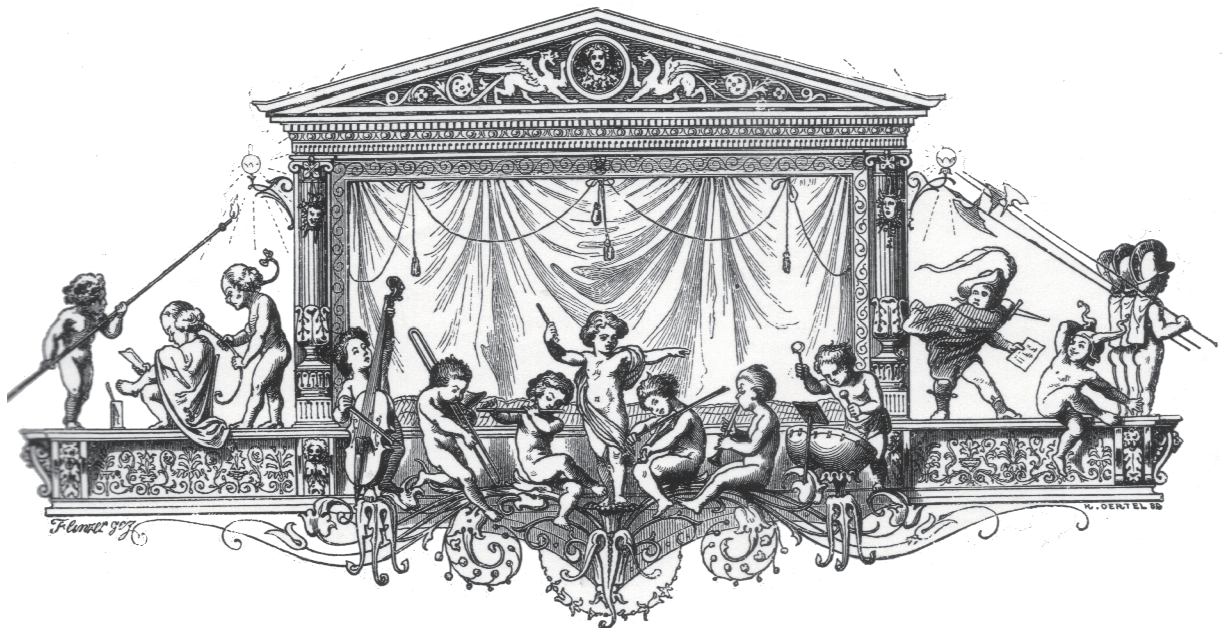
日本音楽表現学会第8回（響の都）大会が盛会裏に終わりました。実行委員の皆様方、本当にごくろうさまでした。いまさらのように第5回（火の国）大会を思い出しているところがございます。本学会では分科会Vの共同研究「日本語の歌と西洋の歌のエクスペリメンテーション」に参加し、いわゆる西洋音楽と日本で作曲され、演奏されている音楽との間に横たわる深い溝のようなものを改めて感じているところです。

現在、私は『音楽文化学とまなび』（仮）の中の「オーケストラにおけるまなび」の原稿を執筆しているところです。内容は、私が顧問をしている熊本大学フィルハーモニーオーケストラの学生たちが、定期演奏会やサマーコンサートに加えて、県内の小中学校で行っている巡回演奏会などの活動を通じて何を学び、それが学生たちの将来にどのようなかかわっていくのかといったものです。よりよい演奏を目指してハーモニーを丁寧に合わせるなどの、具体的な指導方法についても書いていますので、よろしければ忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

初めてみる生のオーケストラの演奏に子どもたちの目はきらきらと輝いています。この子どもたちの様子を見てみると、この活動を続けていくことがいかに大切であるかを思い知らされます。

昨今、無差別に人を殺したりけがをさせるなどの、にわかには信じがたいような事件が頻繁に起きているようですが、それだけ生きにくい世の中になったのであろうと思う一方で、感動する心があれば、このような事件も少なくなるのではと思います。そのためには子どもたちに感動する機会をたくさん与える必要があるように思います。そしてそのためにこそ音楽は重要な役目を果たすると信じます。

7月24日には加藤清正公ゆかりの加藤神社で第5回大会でもオープニングで演奏させていただいた『清正公太鼓』を演奏しました。西洋料理も日本料理もおいしいように、西洋音楽も日本の音楽も心がこもっていればきっと人を感動させることができるのではないかと考えているところです。理事は初めてですが、いろいろとご指導くださいますようお願い申し上げます。



日本音楽表現学会第8回（響の都）大会報告



1) 響の都大会を終えて

今回、「響の都」大会事務局長を務めさせて頂き、大変勉強になりました。「是非京都で・・・」とお話（実は2回目）を頂いた際には、「その時が来た！」と感じました。私は、人と関わることや興行的な仕事根柢から好きな人間なので、準備の全てが実に楽しかったですし、何より「山をも動かすような」奥会長パワーに巻き込まれて勉強できるのが嬉しかったです。ありがとうございました。

大会は会長、副会長、委員長、副委員長、役員、実行委員の方々と京都女子大学の守衛さんをはじめとする学内の事務系統、同僚ら多くの方々のお知恵とお力をお借りして、実に有意義に展開でき、無事終了することができました。お世話になりました皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

学会当日、約250名（うち当日会員述べ約100名）の方々にお越し頂きました。これだけ多くの当日会員の方々に足を運んで頂いたのは、何と言っても会長デザインのカラフル&内容豊富なチラシによる宣伝効果が大きかったと思われます。今回、安田副会長の御提案により、コンサートホール、美術館（3館）も広報活動対象としました。ある美術館の方から、チラシを依頼通りインフォメーションコーナーに置いたところ、すぐに100枚捌けてしまった、色彩が美しいので手を留めて頂ける方が多いようだお御連絡頂き「さすが、現役美大生 奥会長！」と感動したものです。また、最初

大会実行委員会事務局長 荒川 恵子（音楽学）

に印刷した分のチラシが早々に捌けてしまい、奥会長が「チラシ1万枚増刷」を即断されたとお伺いした際、「本気！」を感じ、身が引き締まりました。

その後、大阪音楽大学で約400名の教員のキャビネットに、大学からの推薦文をつけてチラシを入れて下さったこと、京都市立芸術大学などでチラシ100枚を引き受けて広報して下さいしたことなど、関西の音楽文化をリードしてきた大学の御協力を頂いたことも大変ありがたかったです。実に多くの方々に御尽力頂きましたこと心より感謝申し上げます。会員の皆様や大会関係の交渉事などで関わった方々との様々な出会いやドラマがあり、そのどれもが魅力的で、私の宝ものとなりました。

日本音楽表現学会は、活動内容の一つとして「音楽表現に関わる人々のコミュニティ」を掲げています。素敵な言葉だと思っています。研究のプライオリティを競い合うこと以上に、音楽表現に関わる様々な分野の方々が集い、議論や情報交換をして互いの領域を学びあい、より幅広い視野で音楽文化全般を見つめることも重要だと感じているからです。今後、市民と交流して教育・福祉の方面で社会に貢献できることを探り提言・実施するなど、他の学会には成しえない独自の実りある活動が展開できる、そのような可能性も秘めているように感じました。

2) 2010年度総会報告

日 時：2010年6月12日（土）16:00～17:00

場 所：京都女子大学音楽棟ホール

出席者数：83名、委任状93通 合計176名（会員総数：2010年6月12日現在321名 定足数：107名）

記 録：澤田まゆみ

1. 開会の辞：安田香事務局長
2. 議長選出：中村滋延

3. 報告：総会資料に基づき以下の事項が報告され、承認された。なお、議事進行の関係で当日配付資料の6)を4)と入れ替えた。

(1) 2009年度事業報告(2009年4月1日～2010年3月31日)

1. 第7回(プロムナード in フォレスト)大会
2009年6月13日(土)～14日(日) 於：宮城教育大学青葉山キャンパス
2. 理事会
第1回 2009年6月13日(土) 於：宮城教育大学青葉山キャンパス
第2回 2010年3月30日(火) 於：キャンパスプラザ京都
その他 電子媒体による持ち回り会議
最終回 2010年6月12日(土) 於：京都女子大学音楽棟
3. 学会誌編集委員会
第1回 2009年6月13日(土) 於：宮城教育大学青葉山キャンパス
第2回 2009年8月6日(木) 於：大阪市立北区民センター
第3回以降 電子媒体による持ち回り会議と編集作業等
4. 論文集編集委員会
第1回 2009年6月14日(日) 於：宮城教育大学青葉山キャンパス
第2回 2009年8月27日(木) 於：キャンパスプラザ京都
第3回以降 電子媒体による持ち回り会議
5. 選挙管理委員会
第1回 2010年2月13日(土) 於：神戸大学発達科学部
第2回 2010年3月22日(月) 於：神戸大学発達科学部
6. 学会誌『音楽表現学』Vol.7発行 2009年11月30日(火)
7. ニューズレター
No.1発行 2009年7月31日(土)
No.2 2009年11月30日(火)
No.3 2010年3月31日(火)
8. 後援 23件
9. 会員数 284名(2010年3月31日現在)

(2) 第7回(プロムナード in フォレスト)大会決算報告

	費 目	金 額 (円)	備 考
【取 入】	大会参加費 129名	579,000	学会員： \5,000×98名=490,000 非会員：(1日につき) \3,000×27名=81,000 学生：(1日につき) \2,000×4名=8,000
	広告費・ブース料	340,000	
	合 計	919,000	
【支 出】	基調講演 講師謝礼	80,000	含：交通費+宿泊
	シンポジスト謝礼	10,000	非会員シンポジスト
	会場費	0	大学共催による
	印刷費	220,000	『大会要項』、チラシ、資料作成
	人件費 アルバイト (含昼食)	121,050	
	実行委員会会議費 (含交通費)	10,000	
	通信費	51,456	『大会要項』発送費及び事務局⇄会場
	振込手数料	6,440	\80×37名=2,960、\120×29名=3,480
	楽器調整費	35,750	調律費+クリーニング(アトラクション)
	雑 費	33,918	
	小 計	568,614	
	一般会計へ繰り入れ	350,386	
合 計	919,000		

(3) 2009 年度会計報告・監査報告

	費 目	決 算	予 算
【収 入】	2009 年度学会費 (224/284 名)	1,120,000	1,225,000
	過年度分 (50 口)	250,000	150,000
	次年度以降前納分 (31 口)	105,000	
	賛助会員会費	5,000	5,000
	学会誌売り上げ	29,060	50,000
	利息	814	1,500
	大会から繰り入れ	350,386	145,000
	その他	1,700	
	小 計	1,861,960	1,576,500
	前年度繰越	396,275	396,275
学会基金	1,500,000	1,500,000	
合 計	3,758,235	3,472,775	
【支 出】	『音楽表現学』 印刷費	768,286	750,000
	ニューズレター 作成費	14,845	20,000
	名簿 作成費	0	0
	理事会 会議費	10,454	10,000
	交通費	130,120	150,000
	学会誌編集委員会 会議費	7,258	10,000
	交通費	91,190	120,000
	論文集編集委員会	54,936	0
	選挙管理委員会 会議費	2,894	10,000
	交通費	7,000	20,000
	郵送費	43,920	43,200
	大会関連	28,480	
	通信費	97,050	170,000
	学会費払込手数料 (\19,160)、銀行手数料	21,680	20,000
	雑費	67,137	100,000
	小 計	1,345,250	1,423,200
	次年度繰越	912,985	549,575
	学会基金	1,500,000	1,500,000
	合 計	3,758,235	3,472,775

以上の通り報告いたします。

2010 年 6 月 1 日

柳井 修 (印)

谷口 雄資 (印)

監査の結果、以上に間違いありません。

2010 年 6 月 5 日

加藤 晴子 (印)

長岡 功 (印)

(4) 年会費納入状況

(2010 年 3 月 31 日 ㄨ)

会員数	未納状況	納入額
284 名 (新入会員 42 名)	2008 年～ 8 名 2009 年 31 名	$5,000 \times 295 = 1,475,000$ 徴収料: 19,160 ($80 \times 106 + 120 \times 89$)

(5) 会則第 8 条 (2) に基づく除名処分

3 年以上の年会費滞納者、以下の 5 名を会員名簿から削除した。

大岩 みどりさん、中村 慶彦さん、松尾 純さん、宮田 信司さん、三好 恒明さん 以上。

(6) 2010 年度会長・理事選挙結果について

2010 年度選挙管理委員会

委員長 坂東 肇 (印)

委員 中 磯子 (印)

” 井上 朋子 (印)

2010 年度選挙管理委員会では、会長・理事選挙の開票を 2010 年 3 月 22 日 (月) に神戸大学発達科学部音楽棟において行いました。その結果をここに報告いたします。

記

1. 投票総数： 票 票数は削除しました。
2. 有効投票数： 票
3. 無効票数： 票
4. 有効投票における各候補者の得票数
右表参照。

役職	氏名	得票数
会長	奥 忍	
理事	安藤 政輝 北山 敦康 杉江 淑子 谷口 雄資 土門 裕之 吉永 誠吾	

以上。

(7) 2010 年度 会計監事の依頼について

長岡 功 (再任) 海津 幸子 (新規)

(8) 学会論文集『音楽表現学のフィールド (仮)』進捗状況

論文集編集委員会委員長 杉江 淑子

第 1 部「音楽における異文化受容」について

第 1 章 (ゲスト執筆者) の原稿を含め、第 6 章までの予定原稿 19 本中、到着済みの 16 本の原稿について、編集委員会において検討し、必要に応じて文字数の削減、文言・表現の修正等を執筆者に依頼し、入稿に向けて担当編集委員と執筆者との間でやりとりを行っている段階である。未着の 3 本については数度の督促をしている。いずれも第 1 部のテーマを掘り下げるために不可欠な原稿であるので、届くまで諦めずに督促を継続するが、出版時期については、当初予定から遅れても、「今年度中」の出版は実現したいと考えている。

第 2 部「音楽表現学の可能性」について

第 2 部の採択原稿 6 本については、修正依頼、担当編集委員とのやりとりを経て、3 本は完成原稿として到着。2 本もほぼ完成段階。残りの 1 本についても、完成に向けて現在修正中である。

以上の状況から、当初予定の 11 月末発行は少し後ろにずれ込む見通しであるが、2010 年度内の完成を目指して鋭意努力したい。

(9) 『音楽表現学』等掲載論文の著作権について

著作権は 3 年間は学会に所属する。その他運用方針、補足説明についてはニューズレターやホームページで公開中である。

(10) その他

- (1) 2010 年度参事 (事務局長付) については会員数増のため、さらにもう 1 名を加える予定である。
- (2) 会費納入方法として銀行口座引き落としの可能性について質問がなされ、今後の検討課題となった。

4. 協議 議案は説明を加えながら提案され、以下のように承認された。

(1) 2010年度事業計画 (2010年4月1日～2011年3月31日)

1. 第8回(響の都)大会		2010年6月12日(土)～13日(日)	於：京都女子大学音楽棟
2. 2010年度理事会	第1回	2010年6月13日(日) 17:00-17:30	於：同上
	第2回	2010年10月～2011年3月	於：未定
	その他	電子媒体による持ち回り会議	
	最終回	2011年6月11日(土)	於：上越教育大学(予定)
3. 学会誌編集委員会	第1回	2010年6月12日(土) 10:00-12:00	於：京都女子大学音楽棟
	第2回	2010年8月	於：未定
	第3回以降	電子媒体による持ち回り会議と編集作業等	
4. 論文集編集委員会	第1回	2010年6月13日(日) 17:15-18:30	於：京都女子大学音楽棟
	第2回	未定	
5. 学会誌『音楽表現学』Vol.8発行		2010年11月30日(火)	
6. 学会論文集『音楽表現学のフィールド』発行		2010年11月30日(火)	
7. ニュースレター発行	No.1	2010年7月31日(土)	
	No.2	2010年11月30日(火)	
	No.3	2011年3月31日(木)	
8. 2010年会員名簿発行		2010年11月30日(火)	
9. 後援	30件		
10. 会員数	350名		

(2) 第8回(響の都)大会予算

	費 目	金 額 (円)	備 考
【収 入】	大会参加費	730,000	学 会 員：5,000円×120名=600,000円 当日会員：3,000円×30名=90,000円 学生会員：2,000円×20名=40,000円
	広告・ブース料	420,000	
	合 計	1,150,000	
【支 出】	基調講演講師謝礼	80,000	基調講演+シンポジウム+ワークショップ+交通費
	シンポジスト交通費	0	
	会場使用料	0	大学共催による
	印刷費	300,000	『大会要項』536円×500部=268,000円 ちらし、他
	人件費 当日アルバイト	125,000	昼食を含む
	実行委員会会議費	10,000	
	交通費	60,000	20,000×3回
	通信費	80,000	『大会要項』発送費41,779円+事務局⇔会場、ちらし送付
	振込手数料	7,000	ATM送金手数料80円, 窓口送金手数料120円
	楽器調整費	20,000	調律費(第1講義室)
	雑費	40,000	
	小計	722,000	
	一般会計への繰り入れ	428,000	
	合計	1,150,000	

(3) 2010年度予算

	費 目	2010年度予算	[参考] 2009年度	
			決 算	予 算
【収 入】	2010年度学会費 (会員数311名—前納分11名)	1,500,000	1,120,000	1,225,000
	過年度分 (39口)	195,000	250,000	150,000
	次年度以降前納分		105,000	
	賛助会員会費	5,000	5,000	5,000
	学会誌売り上げ	30,000	29,060	50,000
	利息	1,000	814	1,500
	大会から繰り入れ	428,000	350,386	145,000
	その他		1,700	
	小 計	2,159,000	1,861,960	1,576,500
	前年度繰越	912,985	396,275	396,275
学会基金	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
合 計	4,571,985	3,758,235	3,472,775	
【支 出】	『音楽表現学』印刷費	800,000	768,286	750,000
	ニューズレター作成費	20,000	14,845	20,000
	名簿作成費	10,000	0	0
	理事会会議費	10,000	10,454	10,000
	交通費	150,000	130,120	150,000
	学会誌編集委員会会議費	15,000	7,258	10,000
	交通費	150,000	91,190	120,000
	論文集編集委員会作成費	900,000	0	0
	会議費	50,000	7,276	
	交通費	50,000	47,660	
	選挙管理委員会会議費	0	2,894	10,000
	交通費	0	7,000	20,000
	郵送費	0	43,920	43,200
	大会関連	40,000	28,480	
	通信費	170,000	97,050	170,000
	学会費払込手数料、銀行手数料	23,000	21,680	20,000
	雑費	105,000	67,137	100,000
	予備費	300,000		
	小 計	2,493,000	1,345,250	1,423,200
	次年度繰越	578,985	912,985	549,575
	学会基金	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	合 計	4,571,985	3,758,235	3,472,775

(4) 新役員の承認

選挙結果に基づき、以下の通り新役員が承認された。

会長 奥 忍

理事 安藤 政輝 北山 敦康 杉江 淑子 谷口 雄資 土門裕之 吉永 誠吾

(5) 「選挙規定」の改正について

改 正 案	現 行
附則	附則
1. 役員の任期は当該年度 7月1日から始まるものとする。	1. 役員の任期は当該年度 8月1日から始まるものとする。
4 本規定は 2010年6月12日から実施する。	

(6) 第9回大会開催期日と会場候補について

期日：2011年6月11日(土)～12日(日)

会場：上越教育大学 新潟県上越市山屋敷町1

(7) その他

年会費について「自動引き落としの方法を導入してはどうか」という提案が中村前会長から出された。理事会で検討することとなった。

5. 閉会の辞：安田 香 2008-9年度事務局長

3) 大会参加者の声



山田克己(幼児・障害児教育)

私にとっては7年振りの京都。相変わらずの蒸し暑さが当時を思い起こさせる。学会の準備を手伝うために駅前のホテルを出ようとした時、ロビーで寛いでいらっしゃる会長と事務局長に遭遇。「あ～ら山田さんじゃないの。遅くに申し込んでくれてありがとう」と恒例の優しい挨拶が本大会の幕開けであった。

大会会場となった京都女子大学は1949年創立とあって、歴史を感じさせる趣の素敵な大学である。その大学にて日本の伝統文化である「能」という世界に初めて触れた。河村晴久氏の振る舞いや声は圧倒的な迫力があり、洗練された業にただただ魅了された。また、話術も素晴らしく、無駄の無い言葉と深い話に感銘を受けた。柔らかな雰囲気を出す京都弁が相乗効果を生み出し、自然と心の中に染み渡ってくるのが心地良かった。各分科会では夫々の方が音楽を媒体とした様々な取り組みをされており、大きな刺激を受けることができた。来年は良い発表ができたらと思っている。事務局及び実行委員のみなさまお疲れ様でした！

松井萌(ピアノ)

京小町の皆様の若く瑞々しいパフォーマンス姿に、私の大会初参加に対する過度な構えはすっかり緩み、基調講演・シンポジウム・分科会における表現への示唆に富む内容にわくわくし、参加者の先生方とのお話には心は弾みと、心も脳も充実した楽しく名残惜しい、心に響いた二日間となりました。

学会での初めての発表は「響の都」大会の最終発表組となり、最後まで心の中は緊張と不安と期待が交錯していましたが、フロアの皆様のあたたかさに支えられ、また今後の課題につながるご質問をいただき、これからの原動力となる貴重な時間となりましたことを感謝しております。1200年以上の歴史を有する京都の地で開催されたことも感慨深く、私たち人間が積み重ねてきた歴史において洗練され普遍性を獲得してきた音楽・芸術を、今を生きる私たちがいか感じ、現在の自分の身体を通してどのように表現するかについて改めて考える貴重な時間となりました。

鍋島 史(音楽教育学)

今大会は、「京都ならではの」で心惹かれるものが多く、興味深く参加させていただきました。

12日午前中の西本願寺のツアーでは、普段一般には公開されていない幾つかの場所を、西本願寺の方の説明を受けながら見学させていただきました。その中でも特に飛雲閣の造形の美しさに感銘を受け、また、書院にある北と南の能舞台を実際に拝見した時は、ここ西本願寺はまさに文化の伝承が行われている場所であるのだと認識いたしました。

そして、午後からの分科会でのワークショップでは、通常鑑賞することはあっても、実際に経験することの難しい能の所作を教えていただくという貴重な体験をさせていただきました。師匠である河村さんのあとを真似て謡をすることは言う程に容易なことではなく、日本の伝統音楽の奥深さを少しではありませんが垣間見ることができました。

他にも様々なジャンルの発表もあり大変充実し、印象に残る2日間となりました。

新入会員紹介

個人情報のため削除しました。



会員によるコンサート案内

- 網屋 太郎 さん **アンサンブル静岡&ジュニア2010室内楽シリーズ**
 網屋太郎ヴァイオリンリサイタル
- 日 時：2010年7月4日(日)
会 場：江崎ホール（静岡市葵区七間町）
出 演：網屋太郎 (Vn.) 清水紀子 (Pf.)
趣 旨：アンサンブル静岡&ジュニアの音楽活動は後進の育成とともに学校教育のサポートも目的です。今回教科書に出てくる有名なヴァイオリンとピアノの楽曲を演奏します。
- 主な内容：モーツアルト：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ KV.373a(379)
 ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第5番「春」
 サラサーテ：チゴイネルワイゼン、他、クライスラー、エルガー等
- 連絡先：網屋太郎 Tel. 054-248-0962 静岡市葵区千代田 3-8-4
-
- 石場 惇史 さん **軽井沢 四季の音楽だより「なつのこんさあと」**
- 日 時：2010年7月16日(金) 18:30開演
会 場：軽井沢 大賀ホール
出 演：石場惇史、川原千尋、東京センセーション、あい御影、小林英夫
チケット：全自由席 2,000円 町内小・中学生無料ご招待 200名(要予約)
趣 旨：アンサンブル静岡&ジュニアの音楽活動は後進の育成とともに学校教育のサポートも目的です。今回教科書に出てくる有名なヴァイオリンとピアノの楽曲を演奏します。
- 主な内容：マンボ No.5、エル・クンバンチェロ、闘牛士のマンボ、シェリトリンド、サンバ・ブラジル、他
- 連絡先：石場プロダクション 197-0085 練馬区早宮 3-12-10 クリア泉 2F
-
- 三村晶子さん **第8回 Mosso Concert**
- 日 時：2010年11月28日(日)
会 場：星誕音楽堂（大阪府交野市）
出 演：泉原隆志 (Vn.) 村田睦美 (Pf.)
趣 旨：交野市民の幅広い年代の皆様に、地元で気軽に本格的な室内楽を楽しんでいただき、音楽だけでなく、作品・作曲家とその時代背景や楽器にも興味を深めていただく企画です。毎回、現在注目されている演奏家を招いています。
- 主な内容：プログラム未定。リサイタル形式の演奏会
- 連絡先：三村晶子 Tel. 090-7366-5187 studio_musique@ybb.ne.jp

会員による CD リリース

藤原 嘉文 さん 『巡りあう時空』～藤原嘉文作品集

- 収録曲 1) 巡りあう時空～ピアノとオーケストラのための／Pf. 蛭多令子、指揮＝飯森範親、
東京交響楽団
2) 舞～3本のフルートのための／Fl. 金子裕美、有坂緑、小池美和
3) 謡歌 わざうた～日本書紀歌謡による／Bar. 水野賢司 Pf. 藤原嘉文
4) METAMORPHOSIS IV～2台のピアノのための／Pf. 酒匂淳、藤原嘉文
5) オルガンとオーケストラの為の「シンフォニア」／Pipe- org. 朝川朋之、指揮＝大
友直人、大阪フィルハーモニー交響楽団

発売 UNIVERSE・KMUR-10034 2,940円(税込)

問い合わせ：(株)ケイ・アイ・エム info@k-i-m.co.jp、藤原 fujiwara@yamanashi.ac.jp

会員による新刊

佐野 仁美 著 『ドビュッシーに魅せられた日本人』

昭和堂 ISBN 978-4-8122-0944-8

価格 2800円＋税 2010年4月

澤田 まゆみ 編著 塚本潤一コラム『キリスト教とともに学ぶ音楽』

聖公会出版 ISBN 978-4-888274-210-4

価格 1890円(税込)

吉澤 実 他共著 『基礎から学ぶみんなのリコーダー 楽しくウェルネス!』

音楽之友社 ISBN 978-4-276-64503-5

価格 1,680円(税込)

石場 惇史 著 『音楽鑑賞は生で聴け! スクールコンサートで情操力を育む』

角川学芸出版 販売 角川グループパブリッシング ISBN 978-4-04-621695-3

価格 1575円(税込)

石場 惇史 著 『社交ダンスはリズムで踊れ! 足型いらずのダンスレッスン』

角川学芸出版 販売 角川グループパブリッシング ISBN 978-4-04-621696-0

価格 1600円(税別)

教員公募

大学名等：宮城教育大学

職 種：教授または准教授または講師

専攻分野：器楽

〆 切：2010年9月21日【必着】

詳 細：http://www1.miyakyo-u.ac.jp/general/teacher/post_180.php



事務局からのさまざまなお知らせとお願い

1. 『会員名簿』の原稿をお願いします。

会員名簿は2年ごとに発行しています。今年は改定の年度です。個人情報保護しつつ、お互いに顔の見える学会でありたいという願いから、自己紹介方式を採用しています。

8月末の〆切までに下記要領で必ず原稿を送付くださいますようお願いいたします。前回と変更がない場合も、確認のため原稿をお送りください。

・内容：氏名、ふりがな、自己紹介

以下の項目から掲載可能な内容を選択し、紹介文を作成してご記入ください。専門分野、所属、連絡先住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス、HP、音楽表現について思うこと、このごろ思うこと、モットー、夢、等々。なお、「よろしくをお願いします」などの挨拶文は省きます。

・字数：160字以内

・〆切：2010年8月31日（火）

・送付方法：原則として、メールで本文に貼り付けてください。メールをお使いにならない方は郵送をお願いします。

・宛先：学会事務局

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

〒520-0862 大津市平津2-5-1

滋賀大学教育学部杉江研究室気付

2. 会費納入について

年会費未納の方には今回ニューズレターと共に、郵便振替の「振込票」を同封しています。過年度分が未納の方の振込票には、未納年度にしるしを入れてあります。行き違いご送金済みの場合はご容赦ください。ご不明の点がありましたら事務局までお問い合わせ下さい。

・年会費（4月～3月）は以下の通りです。

正会員 5,000円 家族会員（二親等以内）4,000円
学生会員（学部生）3,000円

・学会は皆様方の年会費で運営されております。機関誌の発行、大会の開催などさまざまな活動に支障をきたすことのないよう、会員の皆さまには速やかなご納入をお願いいたします。

・納入は必ず郵便振替でお願いします。無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、右側の「振替払込請求書兼受領証」（ATMご利用の時は「ご利用明細票」）に、各自で納入年度のメモをお残しいただくことをお勧めいたします。なお、学会では原則として改めての領収書発行はいたしておりません。

・ATMでの納入をお勧めいたします。会計上も助かります。（窓口：120円、ATM：80円）

3. 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

ご希望の方はメールで事務局までお申し込みください。代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3は1部1500円+送料、

Vol.4～Vol.7は1部3000円+送料、

一般価格：Vol.2～Vol.3は1部3000円+送料、

Vol.4～Vol.7は1部3500円+送料、

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。なお、Vol.1は残部がありません。

4. ニューズレターへの投稿

ニューズレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。テーマは何に關してでも自由です。皆様の投稿をお待ちしています。

- ・研究ノート、随想など：1600字以内
- ・コンサート案内：学会後援のものを掲載します。
- ・新刊案内：会員による刊行物の紹介を行います。上梓されたらお知らせください。
- ・その他：所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・投稿受付は随時、事務局宛ワードの添付書類で学会事務局宛をお願いします。
music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

4. 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

- ・研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

1) 「入会申込書」書式

入 会 申 込 書 日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 年 月 日 氏 名 (ふりがな) : 専門分野 : 住 所 : 〒 所 属 : 連絡先 : 連絡先電話番号 : 連絡先 Fax. 番号 : e-mail アドレス : 推薦者名 (学会員・1名) 音楽表現学会に期待されること。ご意見等 :	[備考] 学会からの連絡 (印刷物お届けなど) は、ご記入いただいた「連絡先」に送ります。 お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。
--	--

2) 「後援願」書式

コンサート等後援願 日本音楽表現学会の後援をお願いします。 年 月 日 氏 名 : コンサート等の名称 : コンサート等の趣旨 : 主な内容 : 期 日 : 会 場 : 連 絡 先 :	[手続き] メール本文に貼り付け、ワード文書添付、または郵送で事務局まで送付してください。「後援願」が受理されれば、「後援願受理のお知らせ」文書がお手元に届きます。ポスターやチラシの印刷に後援名義が間に合うよう、ゆとりを持って「後援願」をお送り下さい。また、受理されたコンサート等は学会 HP に掲載します。
--	---

- 3) その他、書式が必要なときには、事務局へお申し出下さい。

- ・大会の口頭発表は、日本音楽表現学会ならではの表現力を駆使して、文字だけでは伝えられない音声を用い、これまでの研究を発信できる場、それを参加者一同が共有できる場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫・実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ・コンサートの後援とご案内：会員による各種演奏、ワークショップ、イベントなどの活動を学会は「後援」します。「後援願」の様式でお寄せください。

5. 各種書式

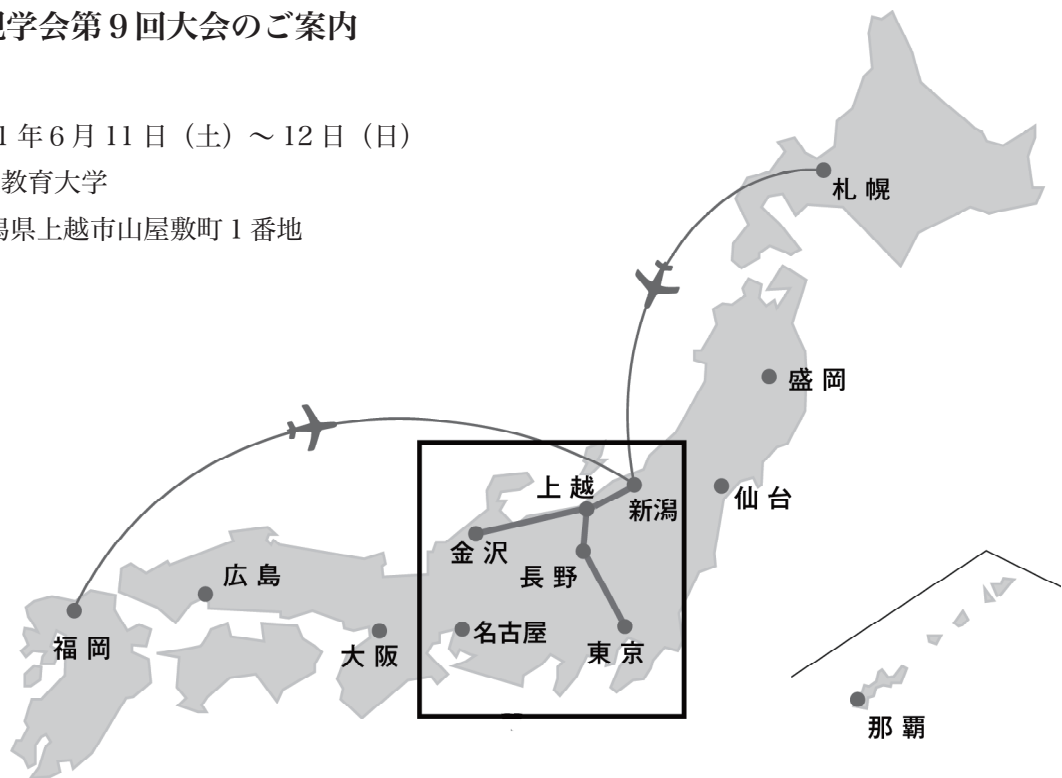
以下の書式を参考の上、メール本文貼り付け、またはワード文書添付、あるいは郵送で事務局まで送付してください。

日本音楽表現学会第9回大会のご案内

期日：2011年6月11日（土）～12日（日）

会場：上越教育大学

新潟県上越市山屋敷町1番地



アクセス：

東京方面から ①上越新幹線「越後湯沢」乗換 ほくほく線「直江津」下車（東京から2時間10分）

大阪方面から 北陸本線「直江津」下車（大阪から4時間40分）

JR北陸線「直江津駅」から

バス 教育大学線（約20分）教育大学下車

山麓線（約15分）教育大学東下車

タクシー（約10分）

東京方面から ②長野新幹線「長野」乗換 信越本線「高田」下車（東京から2時間50分）

JR北陸線「高田駅」から

バス 駅近く本町6丁目バス停から教育大学線（約15分）教育大学下車

タクシー（約10分）

2010年度役員	編集後記
<p>会長：奥 忍</p> <p>理事：安藤 政輝 北山 敦康 杉江 淑子 谷口 雄資 土門 裕之 吉永 誠吾</p> <p>監事：長岡 功 海津 幸子</p> <p>会長諮問会議： 草下 實 佐々木 正利 中村 隆夫</p> <p>参事：小森 光紗 近藤 晶子 嶋 晴子 似内 裕美子 松井 萌</p> <p>編集委員会： 小西 潤子 伊野 義博 河本 洋一 木下 千代 小畑 郁男 佐野 仁美</p> <p>選挙管理委員会： 坂東 肇 中 磯子 井上 朋子</p>	<p>編集後記</p> <p>今年の梅雨明け以降の毎日は、私がこれまでに経験したことのないほどの酷暑です。このニューズレターが皆様のお手もとに届く頃には少しは過ぎやすくなっているでしょうか？</p> <p>西日の照りつける研究室で「第8回（響の都）大会報告」の原稿を読みながら、京都女子大学キャンパスの豊かな緑とプリンセスラインの赤い車体を懐かしく思い出しています。次回の大会は新潟県南西部に位置する豊かな自然と歴史の町上越市です。上越教育大学の皆様、よろしく願いいたします。（北山敦康）</p>